

〔科目名〕 地域経営論	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目
〔担当者〕 足達健夫	〔オフィス・アワー〕 時間： 後日掲示する 場所： 1302 号室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 人口減少時代を迎えるにあたり、地域をどのような姿にしてい（経営してい）べきかを考える。「地域を経営する」といっても、地域を構成する要素は多岐にわたり、「この方法をとれば、かならずこういう結果が出る」という方程式があるわけではない。しかし、この分野で学んでおくべき概念や考え方、制度、用語、事例はある。本科目ではなるべく網羅的に、基本的かつ重要なものを取りあげる。 講義は、現在の地方都市が直面する状況からはじまり、都市空間、交通、環境、観光などのテーマについて解説する。いずれのテーマにも共通するのは、それらが住民にとってなにを意味するかである。この「住民の視点」を、全体を貫くもうひとつのテーマとして講義を進める。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 本科目の対象は地域社会に住み、地域社会をつくる担い手を想定している。ここで学ぶことは、将来、行政や地域企業で、地域に関わる仕事に取り組む際に最低限必要な考え方・知識である。「住み」、「つくる」ことは、すべての地域住民がやっていることだが、本科目の履修者は、学術的な知識に裏付けられた上で、明確な意図を持ってそれを行うことになる。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 「地域経営」が、どのような場面で、どのような考え方によってなされているかを、具体的に説明できること。それに関連するさまざまな事例に言及できること。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 その日の講義の要点をより具体的に整理できるようにした。		
〔教科書〕 特に定めない。		
〔指定図書〕 特に定めない。		
〔参考書〕 特に定めない。講義中に随時、文献を紹介することがある。		
〔前提科目〕 なし。		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) (1) 定期試験の点数で評価する。出席に関する下記の条件をクリアしていても、欠席が多い場合は定期試験の点数よりも低い評価を与えることがある。		

(2)理由にかかわらず、6回欠席した時点でF評価とし、定期試験の受験を認めない。	
〔評価の基準及びスケール〕 A:80%以上 B:70～79% C:60～69% D:50～59% F:50%未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 講義中、学生一人ひとりに随時、試問／質問をする。自由、柔軟な発想で考えを述べたり、わからないときは「なにがわからないか」を考え述べるなど、教員とのコミュニケーションにより、ともに講義をつくる姿勢を望む。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか)：人口減少と地域社会(1) 内 容：日本・世界における人口の傾向、合計特殊出生率と影響要因
第2回	テーマ(何を学ぶか)：人口減少と地域社会(2) 内 容：地域における人口動態、地方版「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」
第3回	テーマ(何を学ぶか)：公共施設 内 容：公共施設とは、施設数の推移、自治体の財政、総合的な管理計画、住民の視点と活動、インフラストラクチャーとは、インフラの外部経済性、評価手法の重要性と事例
第4回	テーマ(何を学ぶか)：市街地の形成(1) 内 容：都市化、都市の誕生と成長
第5回	テーマ(何を学ぶか)：市街地の形成(2) 内 容：地域モデル、都市の構造
第6回	テーマ(何を学ぶか)：市街地の形成(3) 内 容：中心市街地の問題と活性化、コンパクトシティと市街地の誘導
第7回	テーマ(何を学ぶか)：地域と交通(1) 内 容：交通と都市構造、交通と中心市街地
第8回	テーマ(何を学ぶか)：地域と交通(2) 内 容：都市交通の問題、自動車交通と公共交通、歩行者環境

第9回	テーマ(何を学ぶか)： 地域と交通(3) 内 容： 地域に与える影響、交通まちづくり
第10回	テーマ(何を学ぶか)： 地域環境(1) 内 容： 環境破壊とはなにか、自然環境の価値
第11回	テーマ(何を学ぶか)： 地域環境(2) 内 容： 積極的／消極的な層、環境保護と地域雇用、「見返りのある保護」、事例
第12回	テーマ(何を学ぶか)： 観光(1) 内 容： 観光動態、エコ・ツーリズム
第13回	テーマ(何を学ぶか)： 観光(2) 内 容： 地域資源としての世界遺産、観光形態の変化
第14回	テーマ(何を学ぶか)： 地域プロモーション(1) 内 容： フィルム・コミッション、地域イメージのコーディング
第15回	テーマ(何を学ぶか)： 地域プロモーション(2) 内 容： 地域プロモーション、メディアの活用、事例
試 験	期末試験。試験範囲はすべての講義内容が対象。